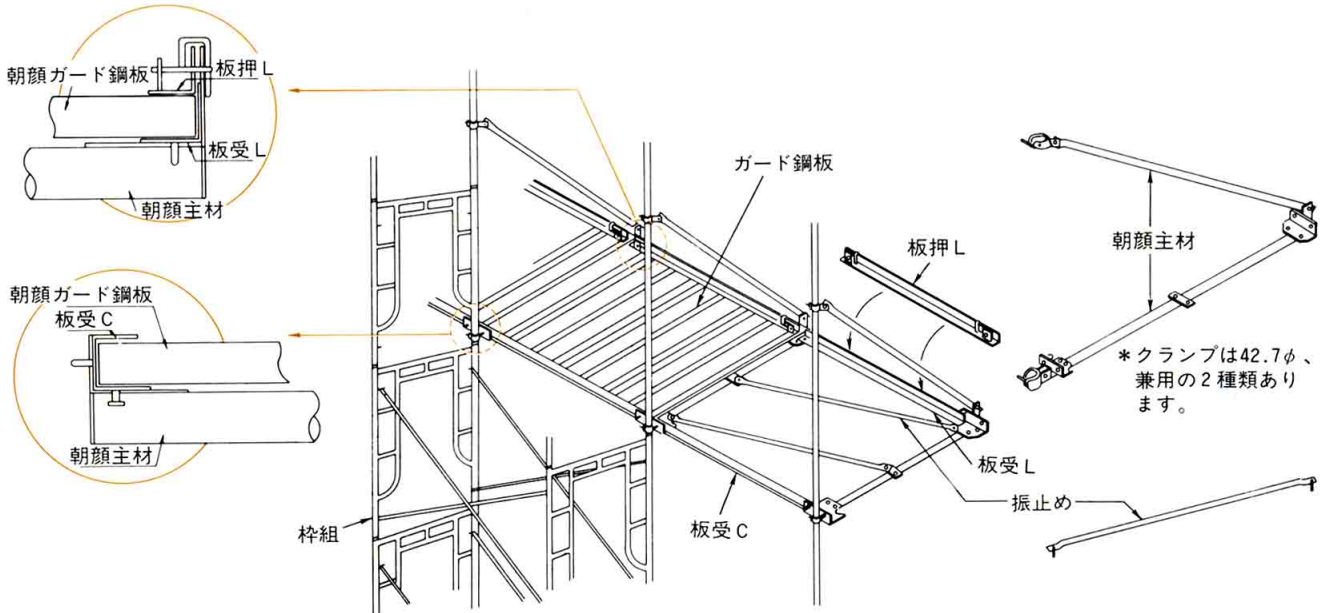


# 朝 顔

\*関連商品 P新-12 参照

## 組立図



## 構成部材

部 材 名	寸 法 mm	質 量 kg	数 量
朝顔主材 A-2350		15.6	スパン数+1
板受 L A-2006 A		5.26	スパン数
板押 L A-2006 B		3.8	スパン数
板 受 C A-2006 D		5.8	スパン数
振止め A-2306 C		2.1	スパン数×2
朝顔ガード鋼板 A-2350 G		10.5	スパン数×5

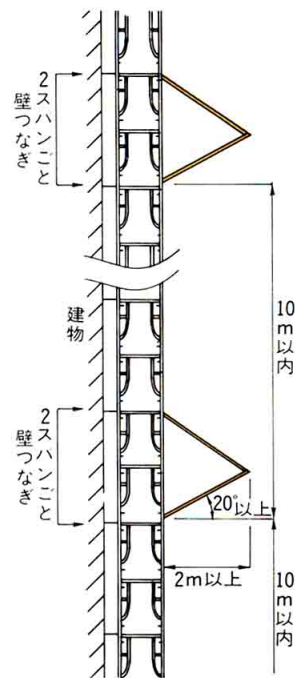
\* スパン当り質量=87.2kg×スパン数+15.6kg

\* インチサイズ専用です。

\* 1524・1219・914・610のスパン用もあります。

\* 壁つなぎ間隔は隅朝顔を併用する場合は、2800mm間隔でセットしてください。  
(P23参照)

## 取付図



● 建築工事等の工事を行なう部分が地盤面より10m以上の高さにある場合は、朝顔を1段以上、20m以上の高さにわたる場合には2段以上設ける。

● 最下段の朝顔は建築工事を行う部分の下方10m以内に設けなければならない。

● 足場の外側からの水平距離は2m以上とし、水平面の角度は20度以上とする。  
(建設省指導基準)